

メキシコのＴＰＰ交渉参加に関するカーク米通商代表発ベイナー米下院議長宛書簡（７月９日付）（外務省仮訳）

平成２４年７月１１日  
外 務 省

２０１２年７月９日

米下院議長  
ジョン・ベイナー閣下  
ワシントンＤＣ， ２０５１５

議長殿

私は、オバマ大統領に代わって、議会に対し、現在行われている環太平洋パートナーシップ（ＴＰＰ）協定の交渉に我々がメキシコを含める意図を有していることを議会に対して通知することを喜ばしく思う。米国がＴＰＰ交渉に入る意図を議会に通知した、私の２００９年１２月の書簡の中で述べたとおり、米国はＴＰＰ協定を、世界で最も速く成長している経済とともに米国の経済的利益を促進させるための手段として、また、アジア太平洋地域にわたる経済統合の潜在的基盤であると見なしている。加えて、ＴＰＰ協定は、我々の経済回復及び米国における給与が高く、質の高い雇用の創出及び維持に不可欠である、米国の輸出を拡大する手段としての役割を果たすであろう。メキシコのＴＰＰ交渉への参加は、これらの目標及び我々の求める高水準な、２１世紀型の地域貿易協定の発展に対する有意義な貢献となるであろう。

交渉を拡大してアジア太平洋地域の国々を追加的に含めることは、長期にわたる米国の目標である。メキシコの参加はこの目標を前進させ、ＴＰＰ協定の経済的重要性を更に高めるものである。

メキシコは、既に米国にとって二番目に重要な輸出先である。２０１１年のメキシコへの米国の輸出は２，２４０億ドルであり、そのうち非農産品は１，８００億ドル、農産品は１８０億ドル、サービスは２５０億ドルだった。昨年、メキシコへの米国の物品の輸出は前年から２１パーセント増加し、北米自由貿易協定（ＮＡＦＴＡ）発効直前の１９９３年からは３７６パーセント増加した。メキシコのＴＰＰ協定への参加は、米メキシコ通商関係を更に強化し、米国の労働者、製造業者、サービス事業者、農家、牧場経営者、小規模事業者及び消

費者に利益をもたらす最先端の協定が両国間に備わることを確保するであろう。

我々は、メキシコとの間で、TPP交渉参加国が追求している水準及び目標、とりわけ、これらがNAFTAにおけるものよりも一層高いような分野に関し、詳細な議論を行ってきた。メキシコは、これらの諸問題に関して交渉する意欲があること及び他のTPP交渉参加国とともに高い水準を達成する準備ができていることを我々に保証した。

我々は、交渉の進展とともに、TPP交渉の全ての要素について議会と厳密かつ広範な協議を継続する。新たな技術と新興の経済分野を促進し、米国の小規模及び中規模事業者がこの地域での輸出を増加させるための新たな機会を創出し、また、米国における投資及び生産を促進するために米国企業が生産及びサプライ・チェーンに参加することを支援するために、TPP協定を活用していく中で、我々はこれまで行ってきたように、議会とともに取り組む。加えて、我々は環境の保護及び保全、透明性、労働者の権利及び保護、並びに開発に関する要素について議会と緊密に協議を続ける。

我々は、TPP交渉について議会と確立してきたパートナーシップを評価しており、この重要な新しい協定を締結するために交渉を継続するに当たって、それを維持することを楽しみにしている。

敬具

ロン・カーク大使

(了)

メキシコのTPP交渉参加に関するカーク米通商代表発イノウエ米上院仮議長宛書簡（7月9日付）（外務省仮訳）

平成24年7月11日  
外務省

2012年7月9日

米上院仮議長  
ダニエル・イノウエ閣下  
ワシントンDC, 20510

議長殿

私は、オバマ大統領に代わって、議会に対し、現在行われている環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の交渉に我々がメキシコを含める意図を有していることを議会に対して通知することを喜ばしく思う。米国がTPP交渉に入る意図を議会に通知した、私の2009年12月の書簡の中で述べたとおり、米国はTPP協定を、世界で最も速く成長している経済とともに米国の経済的利益を促進させるための手段として、また、アジア太平洋地域にわたる経済統合の潜在的基盤であると見なしている。加えて、TPP協定は、我々の経済回復及び米国における給与が高く、質の高い雇用の創出及び維持に不可欠である、米国の輸出を拡大する手段としての役割を果たすであろう。メキシコのTPP交渉への参加は、これらの目標及び我々の求める高水準な、21世紀型の地域貿易協定の発展に対する有意義な貢献となるであろう。

交渉を拡大してアジア太平洋地域の国々を追加的に含めることは、長期にわたる米国の目標である。メキシコの参加はこの目標を前進させ、TPP協定の経済的重要性を更に高めるものである。

メキシコは、既に米国にとって二番目に重要な輸出先である。2011年のメキシコへの米国の輸出は2,240億ドルであり、そのうち非農産品は1,800億ドル、農産品は180億ドル、サービスは250億ドルだった。昨年、メキシコへの米国の物品の輸出は前年から21パーセント増加し、北米自由貿易協定（NAFTA）発効直前の1993年からは376パーセント増加した。メキシコのTPP協定への参加は、米メキシコ通商関係を更に強化し、米国の労働者、製造業者、サービス事業者、農家、牧場経営者、小規模事業者及び消

費者に利益をもたらす最先端の協定が両国間に備わることを確保するであろう。

我々は、メキシコとの間で、TPP交渉参加国が追求している水準及び目標、とりわけ、これらがNAFTAにおけるものよりも一層高いような分野に関し、詳細な議論を行ってきた。メキシコは、これらの諸問題に関して交渉する意欲があること及び他のTPP交渉参加国とともに高い水準を達成する準備ができていることを我々に保証した。

我々は、交渉の進展とともに、TPP交渉の全ての要素について議会と厳密かつ広範な協議を継続する。新たな技術と新興の経済分野を促進し、米国の小規模及び中規模事業者がこの地域での輸出を増加させるための新たな機会を創出し、また、米国における投資及び生産を促進するために米国企業が生産及びサプライ・チェーンに参加することを支援するために、TPP協定を活用していく中で、我々はこれまで行ってきたように、議会とともに取り組む。加えて、我々は環境の保護及び保全、透明性、労働者の権利及び保護、並びに開発に関する要素について議会と緊密に協議を続ける。

我々は、TPP交渉について議会と確立してきたパートナーシップを評価しており、この重要な新しい協定を締結するために交渉を継続するに当たって、それを維持することを楽しみにしている。

敬具

ロン・カーク大使

(了)